

公立大学法人 大阪府立大学との産学連携研究支援事業

平成30年度 支援対象研究決定！

当会と大阪府立大学は、『食・農・環境』をキーワードに、地域社会における学術・研究・人材育成等の分野において、人的・知的資源の交流・活性化の促進を目的に産学官連携基本協定を締結しております。

本協定に基づき、当会は、「産学連携研究支援事業」として同大学の在籍教員が行う研究に対し、研究費の支援をしております。

今般、平成30年度産学連携協議会において、以下の3つの研究に対する支援を決定いたしました。

引続き、研究への連携強化や、研究成果に関する情報発信等に取り組み、大阪都市農業のさらなる発展及び豊かな地域社会の実現を目指していきます。

<平成30年度 支援対象研究>

研究者名	東條 元昭
所属・役職	大阪府立大学 生命環境科学研究科 教授
研究テーマ	<p>タケ細粉のミミズ食作用による有機農業用培土化技術の開発</p> <p>(内容)</p> <p>本研究は、耕地荒廃の一因となる放棄竹林の伐採処理に伴うタケ廃材の活用のため、ミミズを利用したタケ堆肥化技術の確立、及びその実用化を目的とするものです。現在は、商品化を目指し、本技術により作製された堆肥の病害抑制効果を明確にするべく、研究を進めており、大阪府内の農家の協力のもとでの検証も進めています。</p>
支援開始時期	平成26年4月

研究者名	塩崎 修志
所属・役職	大阪府立大学 生命環境科学研究科 准教授
研究テーマ	<p>野生ブドウを活用した「大阪ワイン」ブランド用ブドウ新品種の選抜と機能性成分強化方法の確立</p> <p>(内容)</p> <p>本研究は、高い機能性成分を豊富に含む野生ブドウとワイン用品種の交配種から、大阪におけるワイン作りに適した新品種を選抜し、初の大阪産まれの新品種を用いたワインの醸造及びその普及を目指すものです。現在は、大阪府内のワイナリーの協力を受け、生育調査を進める等の研究を行っています。</p>
支援開始時期	平成29年4月

研究者名	神谷 重樹
所属・役職	大阪府立大学 総合リハビリテーション学研究科 教授
研究テーマ	<p>羽曳野産イチジク葉由来物質の歯周病原細菌に対する抗菌活性の検討</p> <p>(内容)</p> <p>本研究は、通常は廃棄されるイチジクの葉を用い、その抽出物について歯周病菌に対する抗菌作用等の影響を解析するもので、最終的には、天然由来の抗菌物質としてオーラルケア用品等への応用を目指しています。</p>
支援開始時期	平成29年4月

以上